

国保連合会とのインタフェースの変更点(案)について

平成20年4月、及び5月施行の介護報酬改定等に伴う連合会とのインタフェースの変更について、その基本方針を以下に示す。

1. 外部インタフェース仕様

①平成20年5月処理以降分

区分	インタフェース種類	交換情報識別番号	レイアウト方針	平成20年5月以降提出分に対する連合会の対応	
				平成20年3月以前の情報	平成20年4月以降の情報
都道府県	事業所異動連絡票情報(サービス情報)	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし ①下記の項目を追加する 予備37:設備基準 ②療養環境基準減算 病院療養型における減算型Ⅱの設定をエラーとする 診療所療養型における設定をエラーとする 	左記①について、異動年月日が平成20年3月31日以前の情報は未設定であってもエラーとしない。設定している場合は通常のチェックをする。	異動年月日が平成20年4月1日以降、必要に応じて左記①を設定する。 左記②について、異動年月日が平成20年4月1日以降の情報に減算型のコードを設定した場合エラーとする。
	<ul style="list-style-type: none"> 事業所情報更新結果情報(サービス) 事業所台帳情報(サービス) 	追加なし	レイアウト方針は入力情報に準じる	入力に応じて左記を設定する。	入力に応じて左記を設定する。
サービス事業所	請求書情報	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし 公費請求欄に中国残留邦人等公費(法別25)を追加する 	現行通り	新規法別番号を設定可能とする。
	過誤決定通知書情報	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更なし 過誤申立事由に同月過誤を追加 	現行通り	申立事由に応じて出力する。

区分	インタフェース種類	交換情報識別番号	レイアウト方針	平成20年5月以降提出分に対する連合会の対応	
				平成20年3月以前の情報	平成20年4月以降の情報
保険者	<ul style="list-style-type: none"> 受給者異動連絡票情報 受給者情報突合情報 	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト変更あり 下記の項目を追加する 保険者番号（後期） 被保険者番号（後期） 保険者番号（国保） 被保険者証番号（国保） 個人番号（国保）	異動年月日が平成20年3月31日以前の情報は未設定であってもエラーとしない。設定している場合は通常のチェックをする。	異動年月日が平成20年4月1日以降、必要に応じて左記を設定する。
	<ul style="list-style-type: none"> 受給者情報更新結果情報 受給者台帳情報 受給者情報突合結果情報 		<ul style="list-style-type: none"> ※受給者異動連絡票情報において、国保と後期の項目間関連チェックは行わない また、老健の終了対応に伴うチェックは行わない ※受給者台帳情報にて、有料老人ホーム同意書の有無の前に追加する 	新レイアウトとし、入力に応じて左記を設定する。	新レイアウトとし、入力に応じて左記を設定する。
	<ul style="list-style-type: none"> 過誤申立書情報 過誤決定通知書情報 	追加なし	サービス事業所インタフェースの取扱に準じる	左記同様	左記同様
	保険者保有給付実績情報	追加あり	下記の項目を追加する 保険者番号（後期） 被保険者番号（後期） 保険者番号（国保） 被保険者証番号（国保） 個人番号（国保）	現行通り	追加項目のチェックを行う
	<ul style="list-style-type: none"> 保険者保有給付実績更新結果情報 国保連合会保有給付実績情報 			現行通り	新レイアウトで出力する
その他	伝送システム仕様書	-	①本番環境でのテスト機能を追加 ※テスト環境に関する内容は削除	入力に応じてテストデータとして取扱う	入力に応じてテストデータとして取扱う
			②Windows Vistaの文字コード対応を追加	文字コードのチェックを行う	文字コードのチェックを行う

②平成20年6月処理以降分

区分	インターフェース種類	交換情報識別番号	レイアウト方針	平成20年6月以降提出分に対する連合会の対応	
				平成20年4月以前の情報	平成20年5月以降の情報
都道府県	事業所異動連絡票情報（サービス情報）	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト変更なし ①下記の項目を追加する 予備38：療養体制維持特別加算 予備39：個別リハビリテーション提供体制（リハビリテーション指導管理）の有無 ②療養病床から転換した介護老人保健施設にて以下を設定する ・特別療養費項目を、特定診療費項目及び個別リハビリテーション提供体制（リハビリテーション指導管理、精神科作業療法、言語聴覚療法、その他）に設定する ・ターミナルケア体制を、ターミナルケア体制（看取り看護体制）に設定する ③施設等の区分コード ・病院療養型にユニット型経過型を追加する ・地域密着型特定施設入居者生活介護にサテライト型を追加する ・小規模介護老人保健施設を廃止し、転換型を追加する 	左記①②③（追加分）について、異動年月日が平成20年4月30日以前の情報は未設定であってもエラーとしない。設定している場合は通常のチェックをする。	異動年月日が平成20年5月1日以降、必要に応じて左記①②③（追加分）を設定する。 左記③（廃止分）について、異動年月日が平成20年5月1日以降の情報に設定した場合エラーとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所情報更新結果情報（サービス） ・事業所台帳情報（サービス） 	追加なし	レイアウト方針は入力情報に準じる	入力に応じて左記を設定する。	入力に応じて左記を設定する。
サービス事業所	請求明細書情報	追加あり	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト変更あり 介護老人保健施設（（予防）短期も同様）に特別療養費欄を設定する交換情報を新規に追加する 	現行通り	特別療養費のチェックを行う。
	増減単位数通知書情報	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト変更なし 特別療養費の査定を出力する 	現行通り	査定結果に応じて出力する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・再審査申立書情報 ・再審査決定通知書情報 	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト変更なし 特別療養費の再審査申立事由は既存の特定診療費を使用する 	現行通り	申立事由に応じて出力する。
保険者	<ul style="list-style-type: none"> ・請求額通知書情報 ・審査決定請求明細表情報 ・公費受給者別一覧表情報 	追加なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト変更なし 特別療養費を、緊急時施設療養費・特定診療費とは別に出力する 	現行通り	請求情報に応じて出力する
	<ul style="list-style-type: none"> ・再審査申立書情報 ・再審査決定通知書情報 	追加なし	サービス事業所インターフェースの取扱に準じる	左記同様	左記同様
	償還明細書	追加あり	サービス事業所インターフェース「請求明細書」の内容に準じる	左記同様	左記同様

区分	インタフェース種類	交換情報識別番号	レイアウト方針	平成20年6月以降提出分に対する 連合会の対応	
				平成20年4月 以前の情報	平成20年5月 以降の情報
保険者	保険者保有給付実績情報	追加なし	サービス事業所インタフェース 「請求明細書」の内容に準じる	現行通り	追加項目のチェック を行う
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険者保有給付実績更新結果情報 ・ 国保連合会保有給付実績情報 			現行通り	新レイアウトで出力 する

2. インタフェース項目案

現時点における、各インタフェース項目の変更案等を以下に示す。

(現行からの変更点を太字・網掛け・下線とする。)

【インタフェース仕様書 都道府県編】

(1) 事業所異動連絡票情報 (サービス情報)

項番	項目	属性	バイト数	内容	必須入力 ^{※1}			備考
					新規	変更	終了	
1	交換情報識別番号	英数	4	事業所異動連絡票情報 (サービス情報) の識別番号を設定する	○	○	○	“5213” 固定
:								
59	生活保護法による指定の有無	数字	1	生活保護法第 54 条の 2 等による介護機関の指定等の有無を設定する				1: 指定無し 2: 指定有り ※4
:								
121	設備基準	数字	1	設備基準をコードで設定する				1: 基準型 2: 減算型 ※4、※22
122	療養体制維持特別加算	数字	1	療養体制維持特別加算をコードで設定する				1: 無し 2: 有り ※4、 ※23
123	個別リハビリテーション提供体制 (リハビリテーション指導管理) の有無	数字	1	個別リハビリテーション提供体制 (リハビリテーション指導管理) の有無をコードで設定する				1: 無し 2: 有り ※4、 ※23
124	予備 40	数字	1	予備 40 をコードで設定する				1: 無し 2: 有り ※4、 ※23

※4 : サービス種類等により体制の無い加算については“0”または“NULL”を設定する。

※22 : **処理年月が平成 20 年 5 月以降の場合、設定する。なお、処理年月が平成 20 年 4 月以前の場合、本項目の設定は不要とし、従前のインタフェースとする。設定された場合はエラーとして台帳への登録は行わない。また、異動年月日が平成 20 年 3 月 31 日以前の情報は、未設定であってもエラーとしない。設定している場合は、通常のチェックを行う。**

※23 : **処理年月が平成 20 年 6 月以降の場合、設定する。なお、処理年月が平成 20 年 5 月以前の場合、本項目の設定は不要とし、従前のインタフェースとする。設定された場合はエラーとして台帳への登録は行わない。また、異動年月日が平成 20 年 4 月 30 日以前の情報は、未設定であってもエラーとしない。設定している場合は、通常のチェックを行う。**

【インタフェース仕様書解説書 都道府県編】

- ・ P 3 (7) 項番 59 「生活保護法による指定の有無」は当該事業所が**生活保護法または中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律**による介護機関の指定を受けている場合は、指定を受けているサービス毎に設定する。

【インタフェース仕様書 サービス事業所編】

(2) 請求明細書情報

①レコード構造

格納が必要なレコードと様式の対応は以下の通りである。

	様式第二・二の二	様式第三・三の二	様式第四・四の二	様式第五・五の二	様式第六・六の六	様式第八	様式第九	様式第十
基本情報レコード	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
明細情報レコード(複数レコード)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
緊急時施設療養情報レコード(複数レコード)			○※1				○※1	
特定診療費・特別療養費情報レコード(複数レコード)			○※2	○※2			○※2	○※2
食事費用情報レコード						○※3	○※3	○※3
集計情報レコード(複数レコード)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
特定入所者介護サービス費用情報レコード(複数レコード)		○※4	○※4	○※4		○※4	○※4	○※4
社会福祉法人軽減額情報レコード(複数レコード)	○※5	○※5				○※5		

凡例： ◎…必須レコード ○…請求内容により必要となるレコード 空白…不要なレコード

※1… 緊急時施設療養費の請求がある場合のみ

※2… 特定診療費・特別療養費の請求がある場合のみ

※3… 食事費用の請求がある場合のみ

※4… 特定入所者介護サービス費等費用の請求がある場合のみ

※5… 社会福祉法人軽減額の情報がある場合のみ

②交換情報識別番号の対応

交換情報識別番号と請求明細書の対応は以下の通り。

	平成13年12月以前	平成14年1月以降	平成15年4月以降	平成17年10月以降	平成18年4月以降	平成20年5月以降
短期入所老健施設	7151	7152		7153		7155
予防短期老健施設		—			7154	7156
介護老人保健施設	7191	7192		7193		7194

また、償還明細書の対応は以下の通り。

	平成13年12月以前	平成14年1月以降	平成15年4月以降	平成17年10月以降	平成18年4月以降	平成20年5月以降
短期入所老健施設	2151	2152		2153		2155
予防短期老健施設		—			2154	2156
介護老人保健施設	2191	2192		2193		2194

③入力必須項目と様式の対応

特定診療費・特別療養費情報レコード（複数レコード）

サービス提供年月が平成15年4月以降の場合、以下の項目を設定する。

但し、様式第四・四の二・九については、サービス提供年月が平成20年5月以降の場合、以下の項目を設定する。

項番	項目名	様式第二・二の二	様式第三・三の二	様式第四・四の二	様式第五・五の二	様式第六・六の六	様式第八	様式第九	様式第十	備考
1	交換情報識別番号			◎	◎			◎	◎	
2	レコード種別コード			◎	◎			◎	◎	
3	サービス提供年月			◎	◎			◎	◎	
4	事業所番号			◎	◎			◎	◎	
5	証記載保険者番号			◎	◎			◎	◎	
6	被保険者番号			◎	◎			◎	◎	
7	特定診療費情報レコード順次番号			◎	◎			◎	◎	
8	傷病名			○	○			○	○	
9	識別番号			○	○			○	○	
10	単位数			○	○			○	○	
11	保険	回数		○	○			○	○	
12		サービス単位数		○	○			○	○	
13		合計単位数		◎	◎			◎	◎	
14	公費1	回数		○	○			○	○	
15		サービス単位数		○	○			○	○	
16		合計単位数		○	○			○	○	
17	公費2	回数		○	○			○	○	
18		サービス単位数		○	○			○	○	
19		合計単位数		○	○			○	○	
20	公費3	回数		○	○			○	○	
21		サービス単位数		○	○			○	○	
22		合計単位数		○	○			○	○	
23	摘要			○	○			○	○	

凡例 ◎…必須項目 ○…請求内容により設定する項目 空白…設定不要

【インタフェース仕様書 保険者編】

(3) 受給者異動連絡票情報

項番	項目名	属性	バイト数	内容	必須入力 ^{※1}			備考
					新規	変更	終了	
1	交換情報識別番号	英数	4	受給者異動連絡票情報の識別番号を設定する	○	○	○	“5311” 固定
:								
12	老人保健市町村番号	数字	8	老人保健市町村番号を設定する				※12
13	老人保健受給者番号	数字	7	老人保健受給者番号を設定する				※12
14	公費負担者番号	数字	8	福祉事務所番号を設定する 福祉事務所からの異動情報提出時のみ設定する				※5
:								
61	小規模多機能型居宅介護の利用開始月における居宅サービス等の利用の有無	数字	1	小規模多機能型居宅介護の利用開始月における居宅サービス等の利用の有無コードを設定する				※5 ※24
62	医療資格 後期高齢者	保険者番号(後期)	英数	8	保険者番号(後期)を設定する			※25 ※27
63		被保険者番号(後期)	英数	8	被保険者番号(後期)を設定する			※25 ※27
64	国民健康保険資格	保険者番号(国保)	数字	8	保険者番号(国保)を設定する			※26 ※27 ※28 ※29
65		被保険者証番号(国保)	英数	20	被保険者証番号(国保)を設定する			※26 ※27 ※29
66		個人番号(国保)	数字	10	個人番号(国保)を設定する			※26 ※27 ※29

※12：受給者が老人保健受給者の場合にのみ老人保健市町村番号および老人保健受給者番号を設定する。

※25：受給者が後期高齢者医療被保険者の場合にのみ保険者番号(後期)および被保険者番号(後期)を設定する。

※26：受給者が国保被保険者の場合にのみ保険者番号(国保)、被保険者証番号(国保)および個人番号(国保)を設定する。

※27：処理年月が平成20年5月以降の場合、設定する。なお、処理年月が平成20年4月以前の場合、本項目の設定は不要とし、旧インタフェースとする。設定された場合はエラーとして台帳への登録は行わない。また、異動年月日が平成20年3月31日以前の情報は、未設定であってもエラーとしない。設定している場合は、通常のチェックを行う。

※28：受給者が退職者医療制度が適用される被保険者等の場合は、退職者医療保険者番号を設定するが、国保保険者番号を記載しても差し支えない。

※29：桁数が規定に満たない場合は、右詰とし、左側をゼロで埋める。

【インタフェース仕様書解説書 保険者編】

・ P 3 等

(10) 項番 33 「公費負担上限額減額の有無」は生活保護または中国残留邦人等公費対象の介護保険被保険者の場合 “2 : 有り” を設定、それ以外の場合 “1 : 無し” を設定する。

・ P 2 5

④ : 「老人保健市町村番号」と「老人保健受給者番号」の必須入力関連検査
「老人保健市町村番号」と「老人保健受給者番号」の何れか一方が設定されている場合は同時に設定されていること。

25 : 「保険者番号 (後期)」と「被保険者番号 (後期)」の必須入力関連検査

「保険者番号 (後期)」と「被保険者番号 (後期)」の何れか一方が設定されている場合は同時に設定されていること。

26 : 「保険者番号 (国保)」と「被保険者証番号 (国保)」の必須入力関連検査

「保険者番号 (国保)」と「被保険者証番号 (国保)」の何れか一方が設定されている場合は同時に設定されていること。

介護保険 受給者情報異動連絡票 (例)

保険者名

証記載保険者番号	被保険者番号	異動年月日	異動区分
年号 年 月 日	年号 年 月 日	年号 年 月 日	1:新規 2:変更 3:終了

異動事由	被保険者氏名 (カナ)	生年月日	性別
		年号 年 月 日	1:男 2:女

[資格]	
資格取得年月日	資格喪失年月日
年号 年 月 日	年号 年 月 日

[要介護認定]				公費負担 上限額減額
みなし 区分	要介護 状態区分	有効期間開始年月日	有効期間終了年月日	
		年号 年 月 日	年号 年 月 日	

[支給限度基準額]			
区分	支給限度 基準額	上限管理適用開始年月日	上限管理適用終了年月日
		年号 年 月 日	年号 年 月 日

[居宅サービス計画届出]			
計画作成 区分	居宅介護 支援事業所番号	適用開始年月日	適用終了年月日
		年号 年 月 日	年号 年 月 日

[利用者・旧措置利用者負担]			
減免 中区分	利用者 負担区分	給付率	適用開始年月日 / 適用終了年月日
			年号 年 月 日 / 年号 年 月 日

[標準負担・特定標準負担]			
標準負担 区分	負担額	適用開始年月日	適用終了年月日
		年号 年 月 日	年号 年 月 日

[償還払化]			
償還払化開始年月日	償還払化終了年月日		
年号 年 月 日	年号 年 月 日		

[給付上の措置]			
給付率引下げ開始年月日	給付率引下げ終了年月日		
年号 年 月 日	年号 年 月 日		

[申請情報]		
申請種別	変更申請 中区分	申請年月日
		年号 年 月 日

[特定入所者介護サービス]									
認定申請 中区分	サービス 区分	特例減額 措置対象	食費負担 限度額	居住費負担限度額				適用開始年月日	適用終了年月日
				ユニット型個室	ユニット型準個室	従来型個室(特)	従来型個室(老・療)	多床室	年号 年 月 日 / 年号 年 月 日

広域(政令市) 保険者番号	[老人保健受給者] 老人保健 市町村番号	老人保健 受給者番号

[社会福祉法人軽減情報]			
軽減率	軽減率適用開始年月日 / 軽減率適用終了年月日		
	年号 年 月 日 / 年号 年 月 日		

小規模居宅 サービス利用

[後期高齢者医療資格]	
保険者番号 (後期)	被保険者番号 (後期)
年号 年 月 日	年号 年 月 日

[国民健康保険資格]		
保険者番号 (国保)	被保険者証番号 (国保)	個人番号 (国保)
年号 年 月 日	年号 年 月 日	年号 年 月 日

(4) 給付実績情報

・基本情報レコード (サービス提供年月が平成20年4月以降の場合、以下の通り設定する)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する	※5	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※4	
:						
17	被 保 険 者 情 報	生年月日	数字	8	被保険者の生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※3
18		性別コード	数字	1	被保険者の性別を設定する	※2
19		要介護状態区分コード	数字	2	要介護状態区分を設定する	※2
20		旧措置入所者特例コード	数字	1	旧措置入所者特例の有無を設定する	※2
21		認定有効期間 開始年月日	数字	8	認定有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※3
22		認定有効期間 終了年月日	数字	8	認定有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※3
23		老人保健市町村番号	数字	8	老人保健の市町村番号を設定する	
24		老人保健受給者番号	数字	7	老人保健の受給者番号を設定する	
25		保険者番号(後期)	英数	8	保険者番号(後期)を設定する	
26		被保険者番号(後期)	英数	8	被保険者番号(後期)を設定する	
27	保険者番号(国保)	数字	8	保険者番号(国保)を設定する		
28	被保険者証番号(国保)	英数	20	被保険者証番号(国保)を設定する		
29	個人番号(国保)	数字	10	個人番号(国保)を設定する		
30	居 宅 サ ー ビ ス 計 画	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅サービス計画作成者の区分を設定する	※2
31		事業所番号(居宅介護支援事業所等)	数字	10	居宅介護支援事業所番号を設定する。	項番25が「居宅介護支援事業所」のとき必須
:						
92	警告区分コード	数字	1	警告の有無を設定する	1:警告なし 2:警告あり	
93	審査年月	数字	6	審査年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	※1	

※1 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項:「年月」欄」参照。(P.42)

※2 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。(P.31)

※3 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項:「年月日」欄」参照。(P.42)

※4 入力識別番号と請求明細書（現物）または償還明細書の対応は以下の通り。

入力識別番号												請求明細書または 償還明細書			
現物						償還									
平成13 年12月 以前	平成14 年1月 以降	平成15 年4月 以降	平成17 年10月 以降	平成18 年4月 以降	平成20 年5月 以降	平成13 年12月 以前	平成14 年1月 以降	平成15 年4月 以降	平成17 年10月 以降	平成18 年4月 以降	平成20 年5月 以降				
7131						2131						居宅介護サービス			
—						7132						2132	介護予防サービス		
7141	7142	7143				2141	2142	2143				短期入所生活介護			
—						7144						2144	予防短期生活介護		
7151	7152	7153			7155	2151	2152	2153			2155	短期入所老健施設			
—						7154						7156	2154	2156	予防短期老健施設
7161	7162	7163	7164			2161	2162	2163	2164			短期入所医療施設			
—						7165						2165	予防短期医療施設		
7171						2171						認知症型共同生活			
—						7172						2172	予防認知症型		
—						7173						2173	特定施設・地域特定施設		
—						7174						2174	予防特定施設		
—						7175						2175	認知症型短期		
—						7176						2176	予防認知短期		
7181	7182	7183				2181	2182	2183				福祉施設・地域福祉施設			
7191	7192	7193			7194	2191	2192	2193			2194	介護老人保健施設			
71A1	71A2	71A3				21A1	21A2	21A3				介護療養型医療施設			
8121						8122						21B1	21B2	居宅サービス計画費	
—						8123						—	21B3	介護予防支援	
—						—						21C1		福祉用具販売費	
—						—						—	21C2	介護予防福祉用具販売費	
—						—						21D1		住宅改修費	
—						—						—	21D2	介護予防住宅改修費	

※5 交換情報識別番号の内容は以下の通り。

交換情報識別番号					内容
サービス提供年月					
平成15年3月 以前	平成15年4月 以降	平成17年10月 以降	平成18年4月 以降	平成20年4月 以降	
1131	1132	1133	1134	1135	保険者保有給付実績情報
1141	1142	1143	1144	1145	保険者保有給付実績更新結果情報
1111	1112	1113	1114	1115	国保連合会保有給付実績情報

※生活保護単独受給者分についても同様の取扱とする。

(5) コード一覧

項番	コード名称	属性	バイト数	内容		
4 1	施設等の区分コード (抜粋)	英数	1	短期入所療養 介護（老健）	平成 20 年 4 月以前	平成 20 年 5 月以降
					1:介護老人保健施設 2:ユニット型介護老人保健施設	1:介護老人保健施設 (I) 2:ユニット型介護老人保健施設 (I) 5:介護老人保健施設 (II) 6:ユニット型介護老人保健施設 (II) 7:介護老人保健施設 (III) 8:ユニット型介護老人保健施設 (III)
					1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所療養型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所療養型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型
					1:介護保健施設 2:ユニット型介護保健施設 3:小規模介護保健施設 4:ユニット型小規模介護保健施設	1:介護保健施設 (I) 2:ユニット型介護保健施設 (I) 5:介護保健施設 (II) 6:ユニット型介護保健施設 (II) 7:介護保健施設 (III) 8:ユニット型介護保健施設 (III)
					1:病院療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型	1:病院療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型
				介護予防短期 入所療養介護 (老健)	1:介護老人保健施設 2:ユニット型介護老人保健施設	1:介護老人保健施設 (I) 2:ユニット型介護老人保健施設 (I) 5:介護老人保健施設 (II) 6:ユニット型介護老人保健施設 (II) 7:介護老人保健施設 (III) 8:ユニット型介護老人保健施設 (III)

項番	コード名称	属性	バ ^ド 付 数	内容		
				介護予防短期 入所療養介護 (診療所等)	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所 型 6:ユニット型病院 療養型 7:ユニット型診療 所療養型 8:ユニット型認知 症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養 型 7:ユニット型診療所療 養型 8:ユニット型認知症疾 患型 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型
				地域密着型特 定施設入居者 介護	1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム 3:養護老人ホーム 4:高齢者専用賃貸住 宅 5:サテライト型有料老人 ホーム 6:サテライト型軽費老人 ホーム 7:サテライト型養護老人 ホーム 8:サテライト型高齢者専 用賃貸住宅	
4 2	人員配置区分コード (抜粋)	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容	
					平成 20 年 4 月以前	平成 20 年 5 月以降
				短期入所療養介護		
				病院療養型	2: I 型 3: II 型 4: III 型	
				診療所療養型	1: I 型 2: II 型	
				認知症疾患型	5: I 型 6: II 型 7: III 型 8: IV 型 9: V 型	
				ユニット型認知 症疾患型	5: I 型 6: II 型	
				病院経過型		2: I 型 3: II 型
				介護療養型医療施 設		
				病院療養型	2: I 型 3: II 型 4: III 型	
				診療所型	1: I 型 2: II 型	
				認知症疾患型	5: I 型 6: II 型 7: III 型 8: IV 型 9: V 型	
				ユニット型認知 症疾患型	5: I 型 6: II 型	
				病院経過型		2: I 型 3: II 型
介護予防短期入所 療養介護						
病院療養型	2: I 型 3: II 型 4: III 型					
診療所療養型	1: I 型 2: II 型					
認知症疾患型	5: I 型 6: II 型 7: III 型 8: IV 型 9: V 型					
ユニット型認知 症疾患型	5: I 型 6: II 型					
病院経過型		2: I 型 3: II 型				

項番	コード名称	属性	バイト数	内容			
53	療養環境基準	数字	1	施設等の区分	内容		
					平成19年3月以前	平成20年3月以前	平成20年4月以降
				病院療養型 ユニット型病院療養型 病院経過型 診療所療養型 ユニット型診療所療養型	1:基準 2:減算型Ⅰ 3:減算型Ⅱ 4:減算型Ⅲ	1:基準型 2:減算型Ⅰ 3:減算型Ⅱ 1:基準型 2:減算型	1:基準型 2:減算型
101	再審査申立事由コード (申立対象項目番号のみ抜粋)	英数	4				
				申立対象項目番号	01: 給付管理票修正 (※4) 10: サービス種類コードおよびサービス項目コードで示すサービス 11: 緊急時施設療養費 緊急時療養管理 12: 緊急時施設療養費 リハビリテーション 13: 緊急時施設療養費 処置 14: 緊急時施設療養費 手術 15: 緊急時施設療養費 麻酔 16: 緊急時施設療養費 放射線治療		
					平成15年3月以前	平成15年4月以降	
				21: 特定診療費 指導管理等 22: 特定診療費 単純エックス線 23: 特定診療費 リハビリテーション 24: 特定診療費 精神科専門療法	20: 特定診療費・ 特別療養費		
102	過誤申立事由コード (申立理由番号のみ抜粋)	英数	4				
				申立理由番号	01: 台帳誤り修正による保険者申立の過誤調整 02: 請求誤りによる実績取り下げ 09: 時効による保険者申立の取下げ 11: 台帳誤り修正による事業所申立の過誤調整 12: 請求誤りによる実績取り下げ (同月) 21: 台帳誤り修正による公費負担者申立の過誤調整 29: 時効による公費負担者申立の取下げ 32: 給付管理票取消による実績の取下げ (※5) 42: 適正化による保険者申立の過誤取下げ 49: 適正化による保険者申立の過誤取下げ (同月) 52: 適正化による公費負担者申立の過誤取下げ 59: 適正化による公費負担者申立の過誤取下げ (同月) 90: その他の事由による台帳過誤 99: その他の事由による実績の取り下げ		
151	設備基準	数字	1	1:基準型 2:減算型			
152	療養体制維持特別加算	数字	1	1:無し 2:有り			
153	個別リハビリテーション提供体制 (リハビリテーション指導管理)の有無	数字	1	1:無し 2:有り			

【伝送システム仕様書】

(5) 伝送システム仕様書

①本番環境でのテスト機能

1.1. 本番環境でのテスト機能インタフェースについて

都道府県、保険者、市町村、福祉事務所がデータを申請する前に、予めテストデータを使用して伝送システムの正当性および送信したデータの正当性を本番環境で確認できるインタフェースを規定する。

なお、本インタフェースは、介護保険審査支払等システムのデータのみ規定するものであり、障害者自立支援給付支払等システムおよび保険料特別徴収経由機関サブシステムのデータに関しては使用できない。

1.1.1 クライアントからの送信電文インタフェース

クライアントからのインタフェースは、メールヘッダを含め、全て本請求登録時と同じである。

なお、テスト機能として処理するためには、送信するデータ（交換情報）のコントロールレコードを、次のように設定する必要がある。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
12	ファイル管理番号	数字	6	テスト機能として処理する場合は、以下の値を設定する。 *TEST*

1.1.2 サーバからの送信電文インタフェース

サーバからのインタフェースは、メールヘッダの拡張情報2 (X-Ex2-IFArea) および拡張情報3 (X-Ex3-IFArea) を除いて、全て本請求登録時と同じである。

1.1.3 テスト機能で使用するインタフェース

テスト機能で使用するインタフェースは以下のとおりである。

電文名称	Subject 内容	送信元	変更の有無(*1)
データ送信	Transmit DataSend	クライアント	×
データ取り消し	Transmit DataDelete	クライアント	×
到達確認情報	Transmit Accept	サーバ	×
受付点検情報	Transmit Regist	サーバ	○
取り消し情報	Transmit DeleteRegist	サーバ	×

*1：本請求登録時でのインタフェースと違う電文

1 1. 4 テスト機能における受付点検情報

テスト機能においては、受付点検情報として本請求登録時とは違い、以下の値を返却する。

X-IFArea の情報／GSV ファイル内容			拡張情報		
点検結果	受付結果	審査支払チェック結果	メールヘッダ	添付ファイルの有無	
				エラー情報	拡張情報
CheckErr	設定なし		○：拡張情報 1 を設定する	×	×
Success	DataErr		○：拡張情報 2 を設定する	×	×
Success	DataErr	エラーあり (様式チェックエラー時)	○：拡張情報 2 を設定する エラーコード：G90402(*1)	○	○
Success	DataErr	エラーなし	○：拡張情報 2 を設定する エラーコード：G90401(*1)	×	○

*1：エラーコードに関しては、「外部接続システムのエラーコード一覧」を参照。

②Windows Vista の文字コード対応

1 2. WindowsVista の文字コードについて

Windows Vista では扱う文字コードの規定値が Unicode (UTF-16) となっており、JIS2004 の文字セットが使用できるが、クライアントから送信する交換情報の文字コードは、シフト JIS (保険料特別徴収経由機関サブシステムでは JIS コード) と規定されており、Unicode および JIS2004 の文字セットは使用できない。

そのため、Windows Vista 上にて交換情報を作成する場合、必ずシフト JIS コード (保険料特別徴収経由機関サブシステムでは JIS コード) で作成し、JIS2004 で拡張された文字を使用してはならない。

1 2. 1 文字コードエラー時の受付点検情報

交換情報に Unicode または JIS コード (保険料特別徴収経由機関サブシステムは除く) が含まれている場合等、受付処理にてエラーを検出した際は、受付点検情報として以下の値を返却する。

X-IFArea の情報／GSV ファイル内容			拡張情報		
点検結果	受付結果	審査支払チェック結果	メールヘッダ	添付ファイルの有無	
				エラー情報	拡張情報
Success	DataErr		○：拡張情報 2 を設定する エラーコード：G90921(*1) G90922(*1)	×	×

*1：エラーコードに関しては、「外部接続システムのエラーコード一覧」を参照。

③外部接続システムのエラーコード一覧

新たに追加するエラーコードは以下の通り。

G90401	テスト機能での処理結果です。交換情報に様式エラーはありません。
G90402	テスト機能での処理結果です。交換情報に様式エラーが存在します。
G90921	レコード内の文字コードがUnicodeで作成されています。 交換情報はシフトJISコードで作成してください。
G90922	レコード内の文字コードがJISコードで作成されています。 交換情報はシフトJISコードで作成してください。